

中小企業の



現場改善の

進め方

第3回

新型コロナウイルス感染 いるが、同時に改善するこ 症拡大で製造業を中心とし とが可能だ。品質向上に

た荷主では、サプライチェ は、業務を細分化した際 にーと物流業務の見直しを 「付加価値を生み出す」と 進める動きが続いている。 分類された業務に対して打 業務の見直しで課題とな る手を考えるべきだ。生産 のは生産性と品質の向上 性向上の改善策と同じで、 で、前回は生産性を高める 手掛かりがない状況で考え フレームワーク（業務改善 始めても、効果的な施策が を思考する枠組み）「ECR 出てこないこともある。ま S」について説明した。今 回は品質の向上に活用す ことが出来るフレームワ ークを紹介していく。

今回は品質向上を検討す 第1回でも触れたよう 際によく活用される「D に、一般的に品質の向上は MAIC（ディマイク）」 生産性の向上とトレードオ を紹介する。Define（定義 の関係にあるといわれて する）Measure（測定す

クニエ

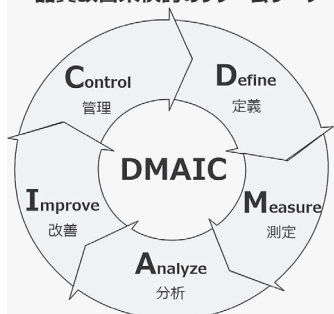
ロジスティクスグループ

大室 翔史

マネージャー

品質向上の「DMAIC」

品質改善策検討のフレームワーク



る）Analyze（分析する）、 Improve（改善する）、 Control（管理する）の頭文 字をつなげた言葉だ。EC RSと共通するのが、文字 の並びの順で業務プロセス の改善を考えるべき点だ。 今回の在庫作業を例に現場 改善を検討する。

在庫精度向上

を課題とする

D（定義）は改善したい 業務課題を定める。業務に 対する顧客の声などを基に 設定する。他にも業務の中 で実際に発生した問題を課 題としてもよい。例えば、 年次の棚卸しの結果、在庫

精度が、顧客との契約サー ビスレベルの値を大きく下 回っていることが判明し改 善策を検討するというケー スを想定する。設定する課 題は「在庫精度の向上」と なる。

次に問題の発生ポイント を特定するために、現状の 業務プロセスを漏れなく可 視化し、関係のある業務テ ータをM（測定）する。例 えば、在庫精度の悪化に直 接起因する可能性が高い作 業は、入荷検品、ピッキング

2次検品作業は工数増に よる作業生産性の低下につ がある。

生産性の向上と同じく、 WMS（倉庫管理システム） の入出庫データの取得・管 理は、業務改善の結果を関 係者全員が同じ物差しで評 価することに役立つ。導入 した改善策が継続されてい るか、されていない場合は

一番重要な の は最終工程だ

改善策を導入して終わり ミスを繰り返さないことが 重要だ。

問題の発生 箇所を明確化 することがで きたなら、続

おおむろ・しょうじ2010年米ナショナル大 経営学修士、外資系3PLプロバイダーで複数の倉 庫の立ち上げ運営管理を経験。後に日系コンサルテ ィングファーム勤務を経て、17年クニエ入社、現 職。物流領域での業務改革やシステムコンサルティ ングを手掛ける。